

令和7年度栃木県こどもモニター 第3回ワークショップ 実施報告

令和7年12月11日、第3回目となる「こどもモニターワークショップ」を國學院大學栃木高等学校にて開催しました。

当日は、2年1組の29名が参加し、4～5名のグループに分かれ、3つのテーマでディスカッションを行いました。

テーマ1

若者目線でつくる“住みたい栃木県”ってどんな県？

テーマ2

若者が考える“地元に戻りたくなる栃木県”ってどんな県？

テーマ3

若者の声をどう集める？政策担当者になってみよう！

若者の県外流出や出生数の減少による少子化といった栃木県の課題を背景に、生徒一人ひとりが“自分ごと”として地域の魅力や解決策を考え、若者ならではの視点から多様な意見が数多く挙げられました。栃木県の将来像を考える上で大変有意義な時間となりました。

本年度の全3回ワークショップ開催を通して、今後の地域づくりや栃木県における施策検討において、若者の声を取り入れる重要性を改めて感じる機会となりました。



以上